

劉 海宇（山東大学教授）

中国山東省における新発見の前漢晩期の書

今世紀に入り、中国山東省では前漢晩期の文物、墨書が相次いで発見されています。本講演では、主に定陶漢墓の磚文及び青島土山屯漢墓の木牘を中心に、山東省考古新発見の文物の様相及びその歴史的・書道的な価値等についてご講演いただきます。さらに、最近の中国の考古学を中心とした学術的な動向についてもお話しいたします。是非ご参加ください。

日時：2026 年 7 月 30 日（木）15 時～16 時 20 分

14 時 40 分受付開始

場所：東京学芸大学 N4 1 1 教室（中央 4 号館北講義棟）

参加費無料、日本語で講演いただきます。



講師紹介

劉海宇（りゅう・かいう）。1970 年生まれ。山東大学歴史文化学院考古学と博物館学博士課程終了。歴史学博士。岩手大学平泉文化研究センター教授を経て、現在、山東大学考古学院（文化遺産研究院）教授。岩手大学特定教授兼任、中国書法家協会会員。
専門分野は先秦秦漢考古学、歴史文献学など、特に先秦秦漢時代の出土文献を研究対象とする。これまで中日両国語の論文を百本近く発表。著作（共編著含む）を 8 部刊行。主な著作に『山東漢代碑刻研究』（齊魯書社、2015 年）、「山東定陶王陵磚銘の文字と書法」（『書法』2025 年第 10 期）、「西周金文「王在周」所涉及建築考述」（『東方考古』第 17 集、2020 年）等がある。また、中国国家社会科学基金、日本學術振興会科研費などの研究課題を複数担当。

学外からの参加希望者は、以下のフォームにて、7 月 23 日 22 時までに申し込みください。開催内容に変更がある場合は、お申し込み情報をもとに連絡いたします。

<https://forms.cloud.microsoft/r/AsheWrbRdb>



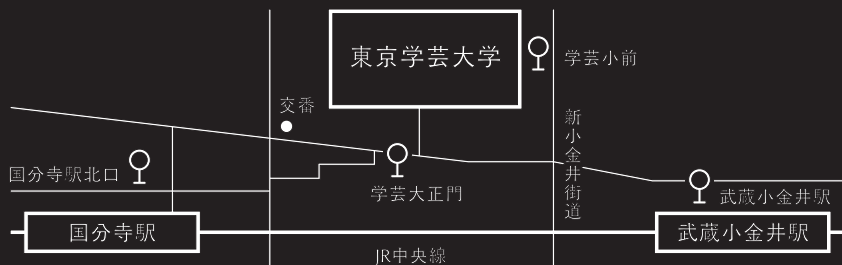
本講演は、東京学芸大学アート・アスレチック教育センターの協賛により開催いたします。



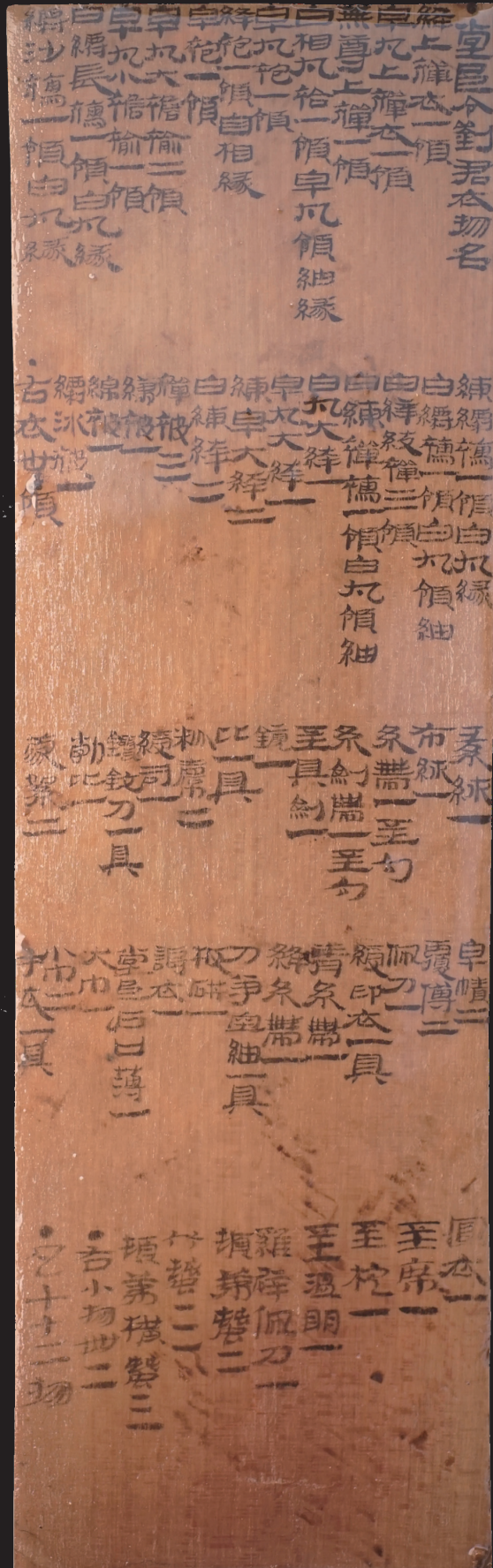
主催：東京学芸大学書道科教室

協賛：東京学芸大学アート・アスレチック教育センター

お問い合わせ先：草津祐介研究室 ykusatsu@u-gakugei.ac.jp



JR 中央線武蔵小金井駅、国分寺駅よりバスで約 10 分



山東青島土山屯墓群西漢墓 M147 出土木牘